

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 4 - 11)

件名	位置情報信号の伝送不良による廃棄物搬送の停止	
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 低レベル廃棄物処理建屋: 放射性 (TRU) 固体廃棄物処理設備</p> <p>(2) 発生の状況 コンベアでの廃棄物搬送中</p> <p>(3) 概要 廃棄物をコンベアにて搬送中、信号の伝送不良により、位置情報取得不良が発生し、インターロックが作動して、廃棄物搬送が停止</p> <p>*他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。</p>	
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 低レベル廃棄物処理建屋の換気設備が稼働しているエリアでの事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 廃棄物搬送は停止しており、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 位置情報の修正作業は、放射性物質を直接扱わないため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 他工程への影響は生じない。 位置情報の修正で、一時的な運転停止が必要となるが、短期間で復旧させることが可能であり他の工程への影響は生じない。</p>	
対応の概要	<p>(1) 廃棄物搬送の停止 (渋滞等の発生が伴う) を確認する。</p> <p>(2) 監視カメラ等により廃棄物の停止箇所を確認する。</p> <p>(3) (2)の情報をもとに、位置情報を修正する。</p> <p>(4) 定められた操作手順に従って運転を再開する。</p>	
公表区分	毎月集約して月1回公表 (ホームページへ掲載)	
対応区分	<p>(a) 運転継続しながら復旧</p> <p>(b) 運転システムを切り替えて復旧</p> <p>(c) 当該機器を停止して復旧</p> <p>(d) 当該設備を停止して復旧</p> <p>(e) 影響範囲の設備を停止</p>	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p style="text-align: center;">0以下 1 2 3 4 5 6 7</p> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p style="text-align: center;">← 放射性物質の外部放出 → 工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: レベル0以下</p> <p style="text-align: center;">放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p style="text-align: center;">運転時制御範囲からの逸脱等 多重防護の劣化</p>

